

岡山県北にゆかりのあるアーティストを紹介!!

# ARTIST

アーティスト インタビュー

# INTERVIEW



11月22日に行われた「お絵かき寺子屋」での様子



宮城県石巻市に設置された「風の環(わ) 2011 年」

## 日本の墨文化を支える文房四宝(墨・硯・筆・紙)を後世に残していきたい

イタリアを拠点に47年間創作活動を続けている武藤順九さん。津山市文化センターの南エントランスには大理石彫刻の「風の環(わ) 2011 年」の4分の1モデルが設置されている。2020年8月からは、親子で楽しめる体験イベント「お絵かき寺子屋」を開催。世界的彫刻家、画家である武藤さんの作品に対する思いや、墨と硯を使ったワークショップを開催する理由などを聞いてきた。

### ヨーロッパに渡ったのは、彫刻を学ぶためですか？

私は絵も描くし、墨絵もやるし、あとは「石彩(せきさい)」と呼んでいますが、石に絵を描くという私だけのジャンルがあります。大学卒業後は異国の地で食べていくために、墨を使って似顔絵や風景画を描いていて、向こうでは非常に珍しがられてよく売れましたね。彫刻を始めたきっかけはイタリアを旅して、世界的に有名な大理石の産地のピエトラサンタを訪れた時に石の美しさに魅せられて、「大理石の彫刻をつくらう」と決意したんです。その時の気持ちは理想の恋人にやっと巡り会えたと言うか、とりあえず芸術に恋をしたんですよ。今でも美の女神が微笑んだら昼夜関係なくすぐに制作活動に取りかかります。

### 大理石の魅力とは？

適度なやわらかさがあり、石目が

美しいということはもちろん、私は大理石を見てみると、生命(いのち)の循環、つまり生命そのものを感じます。大理石はマグマの近くで温められ、そのままゆっくり億年単位の時間をかけて冷めて生成されます。生命の堆積がその時間の流れの中を眠つてきているわけで…。私にとって大理石は、時空を超えて出会える生命体そのものなんです。

### 風の環(わ)シリーズについて。

幼い頃から墨に馴れ親しんでいたこともあり、私がデッサンに使うのは和紙の巻紙と墨です。墨絵で描いている柔らかい線をなんとかして立体にできないかと思っていました。重たいものを重く感じさせない、風にも飛んでいきそうな、そんなものをやってみたく試行錯誤して「風の環」シリーズが生まれました。表と裏が同時に存在しているメビウスの輪のような造形になっています。

### 世界各地の名だたる場所に設置されていますね。

今まで、2000年にバチカン市のローマ法王公邸、2006年に仏教発祥の地インド・ブッダガヤの世界遺産であるマハボディ大寺院、そして2009年にはネイティブアメリカンの聖地ワイオミング州デビルスタワー国立公園に永久設置されました。文化や宗教が違っても、アートはそれらを超えられるだけの力があるんだと実感しています。いくら自分が世界平和を訴え、ここに作品を置きたいと願っても出来ないことが出来ていることを不思議に思っ

ています。作家がいくら語っても意味がなく、やはり作品が語らないと意味がないんですね。「風の環(わ)」が宗教や文化、人種、さらには時を超えて「和」を伝えて欲しいと願っています。

### お絵かき寺子屋を開催しようと思ったのは？

今は習字の時間は減らされ、子どもたちはプラスチックの硯セットを使っています。墨の濃淡の美しさや墨の匂いを知る機会がなくなっていることに私はショックを受けました。日本人としての素晴らしい精神を後世に伝えることが欠かせないと思

い、寺子屋を小さな日本文化ルネッサンスと考え始めました。自分でする事に意義があるので、私は寺子屋では一切教えません。その都度テーマを与え、6mの和紙の巻紙に墨で自由に描いてもらい自分で完成させるスタイルです。親子の参加でも親

からのアドバイスは一切無しです。これからの若い人たちに自分なりの個性を養ってほしいと願うからです。人は一回楽しいとか美しいという経験をする脳に残るんです。それでもう一回やってみようと思うものなんです。寺子屋で描いた家族の作品を家で改めて開いて、同じテーマでもこんなに違うということを知るのも新しい親子の認識となるはずで

### 今後について

コロナで延期になっていたポर्टアート&デザイン津山での特別展「イタリアの風 武藤順九の宇宙」が来年の3月27日〜4月18日に開催されます。多くの方々にご覧頂ければ幸いです。コロナ終息と共に、世界を飛び回る事になりますが、今後も寺子屋は開催していきたいですね。



彫刻家/画家 武藤 順九 むとうじゅんきゅう  
1950年仙台市に生まれる。東京藝術大学美術学部卒業後フランス・スペインへ。その後イタリア・ローマにアトリエを構える。数々の国際的展覧会で受賞し、2000年には「風の環(わ) -PAX2000-」が、バチカン市国のローマ法王公邸内に抽象彫刻としては史上初の永久設置される。その後、「風の環(わ)」と題した彫刻作品を世界各地に設置。2019年6月に「昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園」を開園し、同年10月から妻の故郷である津山に移住し現在に至る。  
武藤順九 HP/ <http://www.junkyu.jp>  
昭島・昭和の森 武藤順九彫刻園 HP/ <http://www.june9-showa-no-mori-akishima.jp>